

市報 **おおいた** 特集号

お お と も や か た あ と そ ゝ う り ん

大友館跡と宗麟



はじめて姿をあらわした

大友遺跡

DISCOVER OTOMO YAKATA

宗麟時代の府内

大分市教育委員会では、戦国時代に大友氏の築いた町「府内」(府中)の発掘調査を行ってきました。そこで、これまでの調査で明らかになった「府内町」の様子について紹介します。

大友館跡の調査

◆ 広大な大友館跡

府内町の中心にあった大友館。その跡地は、一辺約200m四方と考えられています。



●上空より見た大友館跡 (顕徳町3丁目付近)



●庭園の跡

◆ 大友館の庭園跡

調査では、戦国時代の大友館の遺構や遺物が続々と見つかっています。館跡の東南隅には、池をもった庭園跡(南北16m以上、東西35m以上)が発見されました。庭園は巨大な庭石(景石)を配置し、また巧みな石組みが見事です。

◆ 大友館の土塁跡

館跡の西では、館を囲む土塁跡の一部を発見しました。

また、宗麟の頃、大規模な盛り土をして、館の敷地を広げたことも分かりました。

付近からは、タイ産の陶磁器、ガラス製の杯、鉄砲玉など、戦国大名大友氏ならではの出土品も見つかりました。



●出土した茶道具 (一部復元)



●ガラス製の杯



●館を囲む土塁跡

◆ 京都風の館

「洛中洛外図屏風」には、戦国時代、京都の室町將軍邸や管領細川氏の広い庭のある館が描かれています。

発掘された庭園跡の様子からすると、大友館もこのような姿であったにちがいないとみられます。



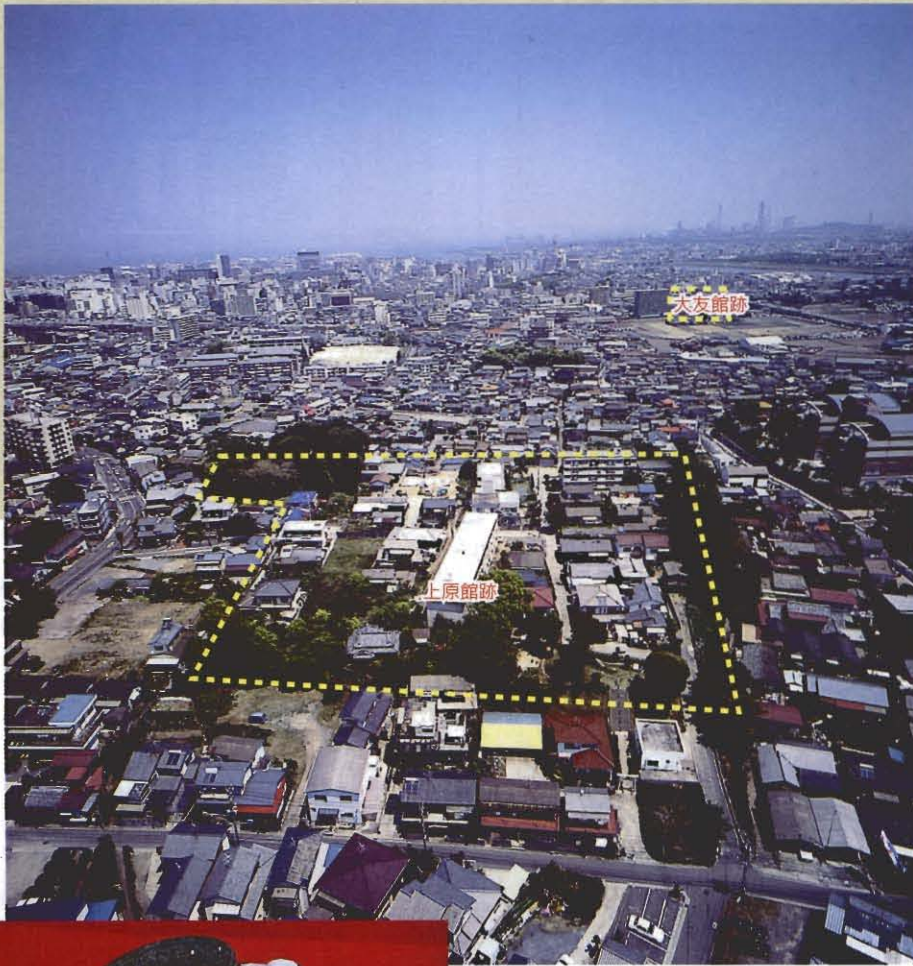
● 城下の調査

◆ 府内(府中)町

今から四百数十年前の戦国時代、大友氏は南北約1.5km、東西0.6kmの範囲に整然と区画された「府内(府中)町」をつくりました。町数は41。宗麟時代の栄華です。

◆ 国際貿易都市の府内

現在の錦町の一角から、中国、朝鮮、タイ、ミャンマー、ベトナムなどから輸入された陶磁器が沢山見つかりました。府内が、堺や博多と並び、南蛮貿易で栄えた国際貿易都市であったことがうかがえます。コレジオ(学校)や府内病院、府内教会など南蛮文化の精髓もみられました。今後の調査が待たれます。



● 上野丘陵から見た大友遺跡

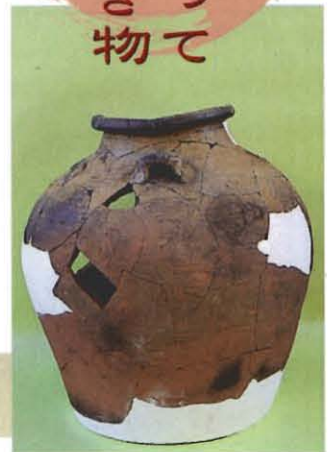


● ミャンマー産の壺



● 備前焼の大ガメが並んだ遺構(錦町)

南蛮貿易によつて
輸入された焼き物



● タイ産の壺

◆ 東九州の商都・府内

横小路町(現錦町の一部)には、10m幅の大路が走り、道沿いには、直径1.5mほどの大ガメを10個もすえた大商店、フイゴで金物細工を営む工房など、多彩な町人たちの活動がくりひろげられました。



● 錦町の遺跡(町屋と道路跡)

中世四百年の輝き

HISTORY

鎌倉時代の初め以来、400年の歩みを刻んだ豊後大友氏の時代。その足跡は市内内外の各所に残されています。

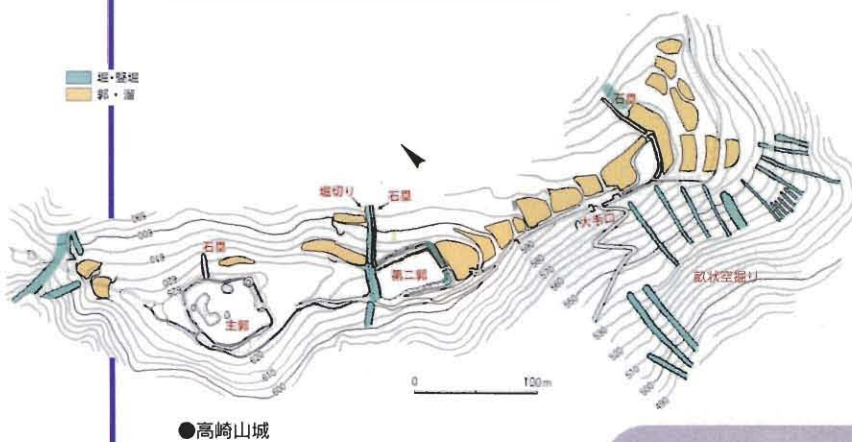
市内



●山城を復元した高崎山模型

高崎山城

大友氏の本城として、堅固な堀切や石塁を持った難攻不落の山城。大友館跡と並んで、大分市の誇る大友氏関連の大切な遺跡です。



●高崎山城

鶴賀城

大友家臣の利光氏の山城として、府内への交通の要所にあたる利光（大南地区）に構えました。1586年、薩摩軍の府内侵入の際、激戦が行われたことでも有名です。

●城跡の出土品



●鶴賀城の全景



もう一つの「大友館」上原館

上野丘西にも大友氏の居館が置かれていました。土塁の一部が整備されて昔の姿をとどめています。



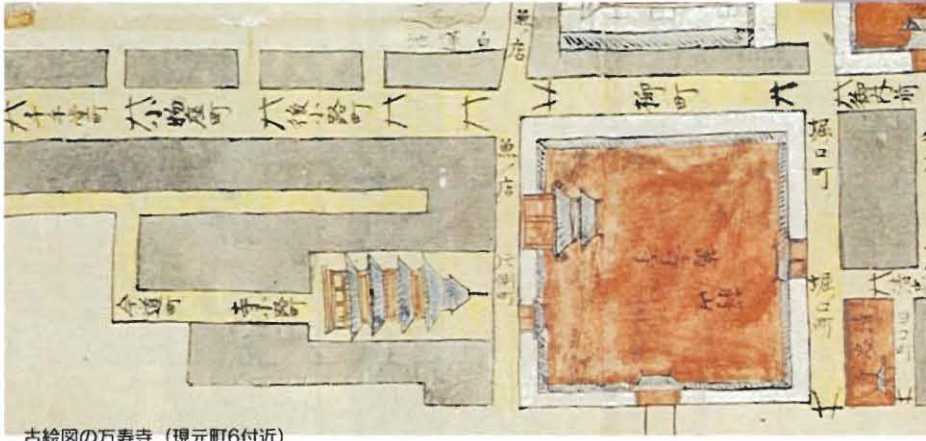
●上空より見た上原館



●上原館の復元図

◆万寿寺・大友氏の菩提寺

1306年に大友氏の5代貞親さだちかによって建立。五山十刹ごさんじゅうしやくの十刹に列せられるほどの壮大な規模を持つ臨済宗の寺院でした。画聖・雪舟も訪れました。豊薩戦争ほうさくせんの戦火で焼失しましたが、1633年に現在の金池町に再興されました。



古絵図の万寿寺（現元町6付近）

◆大友氏の崇敬社・柞原八幡宮

平安時代、827年の創祠そうしといわれます。古来、宇佐神宮の分霊地として豊後一の宮とされ、国司・武家などの崇敬を集めました。中世には、武の神・八幡神として大友氏の尊崇厚く、大友氏寄進の品々が伝えられています。



●柞原八幡宮

●市外

◆博多息浜と府内沖ノ浜

古代以来、対外交易の窓口として発展してきた博多。戦国時代、博多を支配したのが大友氏。貿易港である息浜（おきの浜）を拠点に朝鮮や中国との貿易をさかんに進めました。

大友氏が府内に開いた貿易港の名も沖ノ浜（おきの浜）。博多息浜と同じ呼び名のこの港は、中国やポルトガル、そして日本各地の商人などで賑わう国際貿易港として繁栄しました。



●大博通りから見た博多遺跡群（福岡市教育委員会）



●港の荷揚げ場に棄てられた遺物（福岡市教育委員会）



●東南アジアから持ち込まれた遺物（福岡市教育委員会）

三時代の遺跡

DISCOVER OITA CITY

奈良時代以来、政治・経済・文化の中枢機関が置かれた大分市。古代・中世・近世そして現在へと、南大分から少しずつ北へ移動しながら都市（まち）がつくられ、繁栄しました。現在の市街地は、この三つの歴史遺産の上につくられており、全国的にも珍しい特質を持っています。

● 古代の大分

古代豊後国かんごのくにの政庁であった豊後国府ぶんごのくに（今の県庁）は、南大分から上野丘陵にかけての地域であったと考えられています。とくに、上野丘の遺跡では、7世紀末から10世紀頃の建物跡、朱がついた瓦や鬼瓦片などが出土し、豊後国府の一角ではと考えられています。

また、瓦葺きで礎石そとせきをもった古代の寺院跡も発見されています。上野台地崖面がけめんには国史跡大分元町石仏や県史跡岩屋寺石仏が彫られています。柔和にやわらびで

端麗たんれいな石仏は、千年近くも大分の変遷と繁栄を見守ってきた、歴史の生き証人といえましよう。



● 大分元町石仏

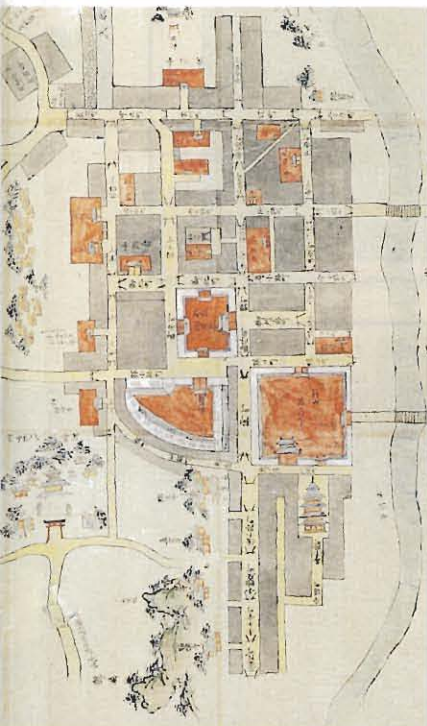
● 上野の古代寺院跡から出土した瓦や土器のようす。



● 中世の大分

四百数十年前、元町から錦町一带に西日本有数の町「府内（府中町）」がつけられました。

往時の様子を伝える絵図には大友御屋敷や万寿寺まんじゅじ、大友御蔵場おくらばなどが描かれ、それを復元すると左の地図のような壮大な町となります。



● 江戸時代に描かれた府内町の古絵図

● 三時代の分（大分市広域図）(株)ムナカタ地図店



● 「御城下絵図」に描かれた府内城



近世の大分

江戸時代の府内町は慶長2年（1597）の府内城の築城に始まります。

48もの町人町をもつ県下最大の商都は、別府湾の水脈を背景につくられ、繁栄しました。

若草公園やジャングル公園など、市街中心地の各所から、江戸時代の大分を語る遺物が出土。町の様子や町人の生活を垣間みることができます。



●町の復元図



●若草公園の発掘調査（旧西上市町と西町）



●屋号や町名を記した品々（若草公園出土）



英傑豊後王大友宗麟

ヨーロッパへの道を布いた人

宗麟は幼名を塩法師丸、のち、義鎮、宗麟、田斎などと名を変えますが、この特集ではわかりやすく「宗麟」に統一しました。

青年大名宗麟の誕生

時代は戦国のまっただなか、
一人の男の子が産声をあげました。

一五三〇年



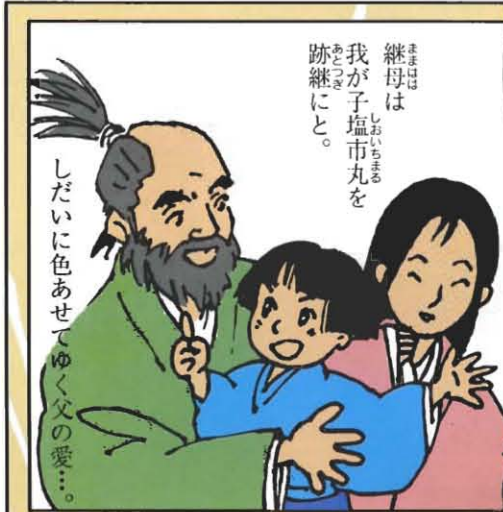
おめでとございませう。

その名は「塩法師丸」のちの義鎮・宗麟です。



大友家の跡継としてすくすくと育てられていましたが、十二歳の時母が死んだ。

母上!!



継母は我が子塩市丸を跡継にと。

しだいに色あせてゆく父の愛...



父上も、新しい母上も私を見捨てよう...



しだいにすさむ宗麟の心。

若様、お止めください!!

やがて、「かぶき者」との評判が...



世嗣のことか!



お屋形さま、お覚悟めされ

そして宗麟二十歳の時（一五五〇年）お家騒動が起こりました。世にいう「大友二階崩れの変」です。

父、継母、塩市丸が重臣たちから

同じ頃、尾張（愛知県）でも4つ年下の信長が、「かぶき者」として!



オレは、尾張のアバレモノだ!

※（大友二階崩れの変）重臣津久見、田口氏が宗麟の父義鑑、継母、弟塩市丸を殺傷した事件（義鑑は二日後死亡）。原因は家督をめぐる対立といわれます。この時、別府に出かけていた宗麟は、すばやい手さばきで事件をおさめ、大友家の危機をのりこえ、大友氏21代当主となりました。



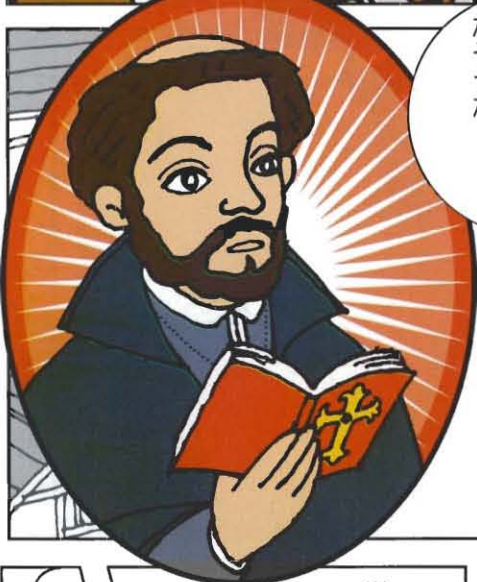
皆の者
ワシと運命を
共にしようぞ

これから先の
運命を切り開くように



この悲劇をのりこえて、
青年大名が誕生。

大友二十一代、
宗麟です。



あの人
天竺の方から来た
ザビエルさま
だそうだ

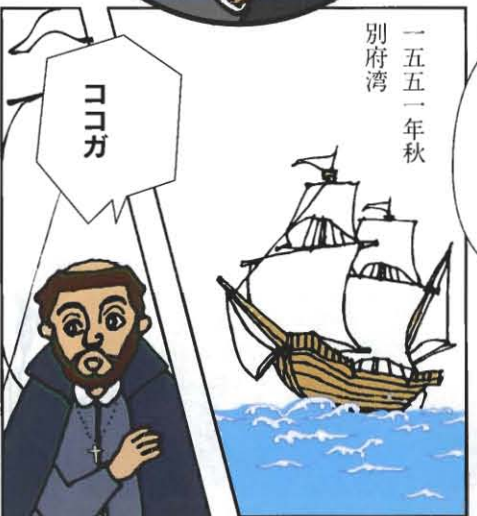


(一五五二初夏)
そのころ山口ではイエズス会士
フランシスコ・ザビエルが
キリスト教を広めて
いました。

ミナサン！
イエスサマノ、
ゴカゴカ
アリマスヨウニ、
アーメン

南蛮の世紀をつくる

※ザビエルはフランス、スペイン国境近くのナバラ王国ザビエル城主の子。パリの聖バルバラ学院での学友イグナチウス・ロヨラらとイエズス会を設立。当時、世界進出の最強国ポルトガルの意向により、アジア布教に乗り出しました。



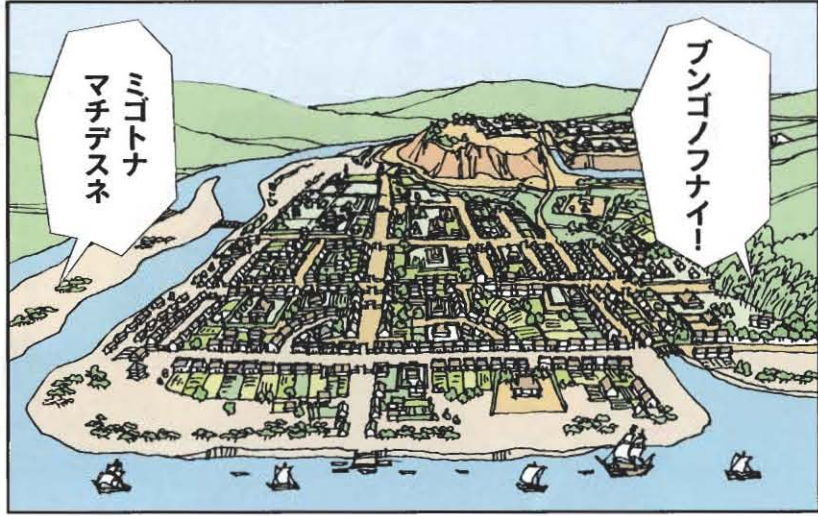
一五五一年秋
別府湾

ココガ



豊後(大分)の
国づくりのために、
南蛮の情報
手に入らぬか

ザビエルという
バテレン殿が山口に
いるそうです。
お会いしたいという
お手紙を出しては
いかがでしょう



ミゴトナ
マチデスネ

ブンゴノファイ！



府内、大友館
(今の顕徳町)



ザビエル殿、
ようこそ
おいでなされた。
何なりとご希望を
申されよ

ワカク、ソウメイナ、
ソウリンドノ。
ワタシハ、イエスサマノ
オシエヲ、ヒロメニキマシタ。



私はこの町を
もつと立派に、
この国を
もつと強く
豊かにしたい。

お力添えを
願えまいか、
ザビエル殿

ポルトガルノ
ヒトタチニ、
ヨク、トリハカラツテ
オキマス

イエスサマノ、
オシエヲ、ヨロシク



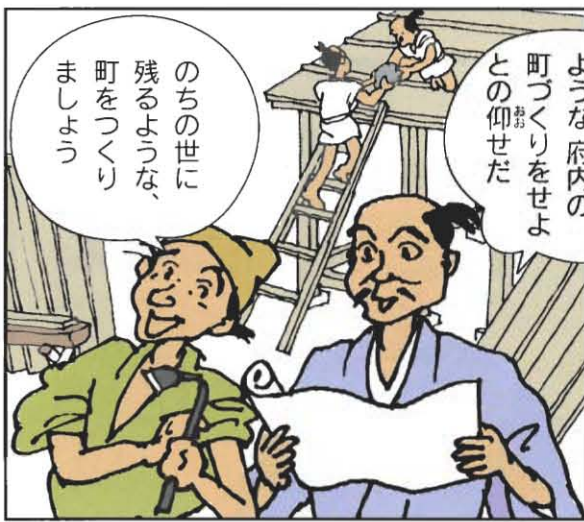
殿のご命令で、
インドの
ポルトガル副王
にお使いに
まいります。

ザビエルさま、
よろしく
おみちびきを

ロレンソ・ペレイラ
宗麟の家臣(日本初の
ポルトガル政府への
向けの外交使節)



そしてこの年の十一月
ザビエルはインドの
ゴアへと、府内を
発ちました。



のちの世に
残るような
町をつくり
ましよう

外国人も住める
ような府内の
町づくりをせよ
との仰せだ



やがて、鉄砲や火薬、
絹、生糸などを積んだ
南蛮船が府内沖ノ浜へ
やってくるようにな
りました。

南蛮との取引も
たいそうになった
ことだな



今度は白杵に店
をつくらねば。
忙しいこと、
この上ないワイ

宗麟さまのおかげで、
ワシも府内きつて
の大店を構える
ようになった。

〈府内の豪商
仲屋宗悦〉



九州の雄宗麟

豊後の宗麟さま
から景徳鎮の
焼物の催促で
ございます

つい先日、
タイの陶器と
朝鮮の青磁を
お届けしたばかり。
府内の宗悦殿の
店に在庫はない
ものか

〈博多の豪商
島井宗室〉



〈宗麟の長男
義統〉

明や朝鮮からも唐錦や
ヒヨウの皮など、珍しい
品々もはります



一五六〇年過ぎ

義統よ！
親父さまを
ついで、ワシ
も、もう十何
年経った
ことが。

はい父上、
やと南蛮の
貿易もうまく
運ぶように
なりました。



〈ヘルイス・デ
・アルメイダ〉

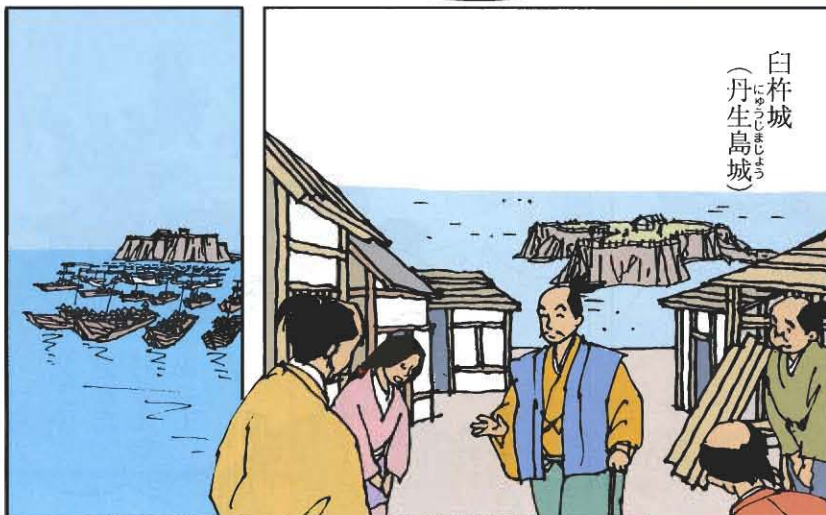
アルメイダ殿も
ようやるワイ。
育児院の次は
新式の
病院じゃあー。

おおはやりとな！
「三時間待ちの
三分診療」とか
きいてるぞ



父上の
進んだ
お考えも
あって、

府内の教会や
西洋劇など、
もっぱらの評判
でございます



一五六九年
山口奇襲

出雲の尼子殿に
協力願って、
毛利をはさみ打ち
にするのが良策。

さすがに殿
遠交近攻
とは、この
ことだ！



これでひとまず
安心じゃあー

オーツ



なにっ

〈毛利元就〉

海から!?

撤退じゃ

ヨーロッパへ向けて

ザビエル殿に
会って、もう二十
数年。まったく
わからない
日本語だった
が、すばらしい
お人だった

それにしても
イエスの教えは、
なんと波風を
起こしたことが。

わたしは、奈多
八幡のムスメ。
あなたが
キリシタンに
肩入れなさる
のは絶対に
反対です。

〈宗麟の妻〉

ワシは決めた！
ザビエル殿の
導きに今、
従うことを。



臼杵教会

今より宗麟さまは
フランシスコの御名
をおとなえ下さい。

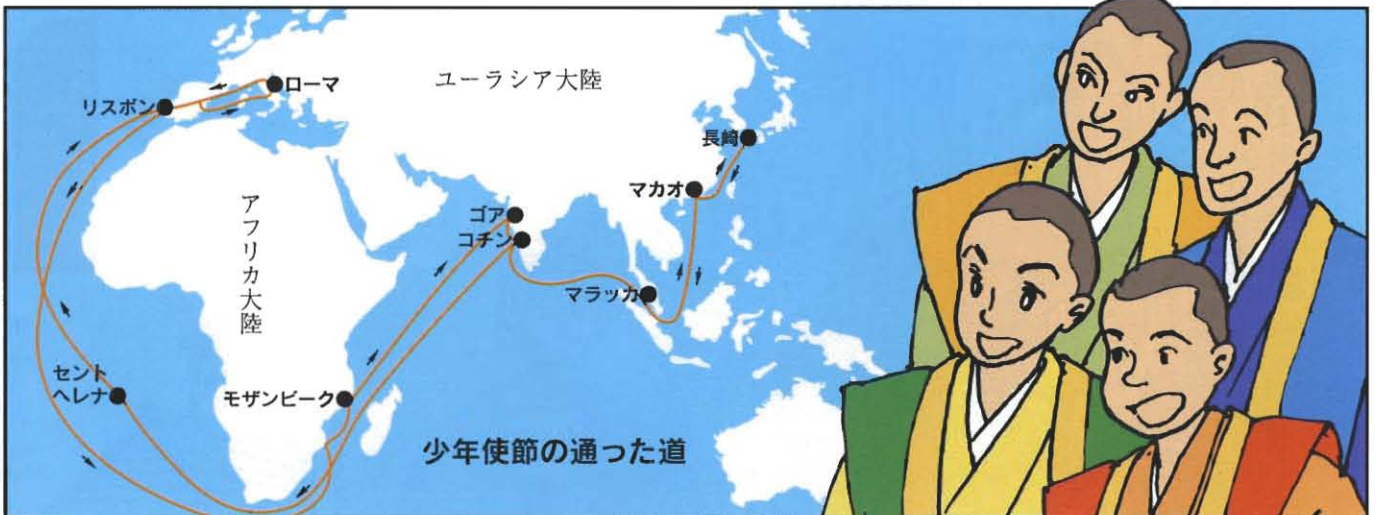
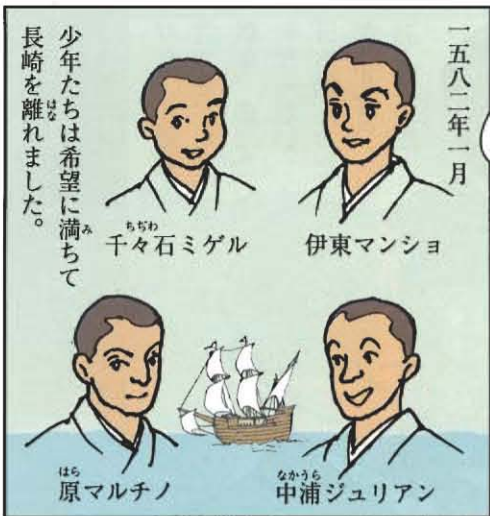
〈カプラル神父〉

神のご恩寵深
からんことを！

アーメン



※「山口奇襲」当時、宗麟のもとに身を寄せていた大内輝弘を支援して、佐賀関一尺屋の武士若林氏の指揮により進めた作戦。宗麟の生涯でもっとも鮮やかな戦いでした。



※ (日向遠征) 日向(宮崎)遠征は、薩摩軍の反撃で大敗。のち、宗麟は津久見に引きこもり、領土拡張(日向での理想郷の建設)の夢はついでえしました。



大友館跡の発掘調査

すずんで南蛮文化を
とり入れた進取の人、宗麟。
「九州の雄」として君臨した
英傑の人、宗麟。
そして、ヨーロッパへの道を
初めて布いた開明の人、宗麟。

そのような宗麟時代の
大友（府内）の栄華が、
今、よみがえろうとしています。
私達の足下から。

(宗麟没後の大友氏) 宗麟が1587年に没し(58歳)、跡継の二十二代義統は朝鮮出兵(1592年)での行動がもとで豊臣秀吉より国を追われ、再起はなりません。子孫は、古くからの名家が任じられた高家(儀式・典例などを司る職)として江戸幕府に仕え、また大友松野氏として熊本藩で続きました。

※へ宗麟の晩年一五八六、八七年にかけて薩摩の島津軍が大挙して豊後に侵入、各地で戦いがありました。戸次川原の合戦は有名です。この時、府内は島津軍に焼き討ちされ大半が破壊されました。

市街中心部の遺跡と今後の方向について

周辺遺跡の 取り扱いについて

本特集号において案内しましたように、市街中心部は、遺跡が分布する、「周知遺跡」の場所となっています。これらの地区で開発事業を行う場合は、「文化財保護法57条の2」の定めにより届出が必要となります。詳細については教育委員会にお問い合わせ願います。

大友館跡の取り扱いについて

1 文化庁の考え方

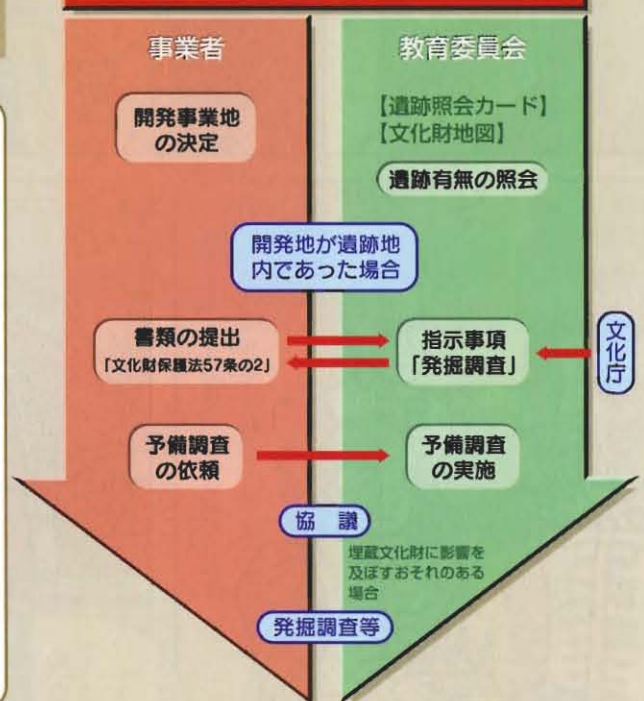
文化庁では、今回の発掘調査ではじめて姿を現した大友館跡について、「全体指定」を行う方針ですが、その第1段階としまして、平成12年度に大分駅周辺整備にかかる代替用地及び民間マンション用地の指定を行う予定です。

2 大分市の考え方

大分市は国の方針を尊重し、今後次のことを行います。

開発事業と埋蔵文化財

埋蔵文化財の取り扱いについての流れ



1 遺跡調査

「府内古絵図」に描かれています大友館跡について、その範囲を確定するためにポイント的に確認調査を実施します。

・大友館跡周辺の中世大友城下範囲等については、開発に伴って埋蔵文化財の発掘調査を実施します。

2 意向調査の実施

大友館跡の国の方針を受けて、関係住民の皆さんを対象として、将来に関する要望等を把握して、今後の街づくりの参考とするためにアンケート調査を実施します。

3 大友遺跡検討委員会の設置

大友館跡を中心とします中世大友遺跡の取り扱いについて、都市計画街づくりの観点から、総合的に検討する委員会を設置します。

●編集委員

- 委員長 秦 政博 氏 (大分市教育委員会参事)
 加藤 知弘 氏 (大分大学名誉教授)
 鹿毛 敏夫 氏 (大分県立先哲史料館主任研究員)
 木村幾多郎 氏 (大分市歴史資料館館長)
 王永 光洋 氏 (大分市教育委員会生涯学習課主幹)

●資料提供等の協力機関

福岡市教育委員会
 大分市教育委員会

ご感想・ご意見をお寄せください。

- この特集号について 〒870-8504 大分市荷揚町2番31号 大分市企画部広聴広報課
 ☎ 534-6111 (内線 1054)
 ●大友遺跡の今後について 〒870-8504 大分市荷揚町2番31号大分市教育委員会内 大友遺跡検討委員会
 ☎ 534-6111 (内線 2045)